

# 平成29年度事業報告

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月 31日

平成29年度は、我が国で初めての図柄入りナンバープレートの交付が開始されました。4月にラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレートの交付が始まり、10月には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレートの交付が開始されました。

図柄入りナンバープレートに対するユーザーの関心は高く、交付枚数は当初の想定を大きく超える状況となりました。

国内新車販売台数は、登録自動車は99.4%と僅かに前年度を下回ったものの、軽自動車は108.1%と前年度を大きく上回りました。総数では102.4%、5,282,634台と前年度を超え、2年連続で500万台を超えました。

本県における新車販売台数は、登録自動車は9月以降マイナス基調が続いたものの、100.5%（26,690台）と前年度を僅かに上回りました。一方、軽自動車はほぼ通年を通してプラス基調で推移し、110.1%（23,497台）と前年度を大きく上回り、トータルでは50,187台と3年振りに5万台に乗りました。

また、図柄入りナンバープレートへのユーザーの関心も高く、全国の状況と同様に交付枚数は当初の想定を大きく超える状況となりました。

本協会の業務は、主要業務である番号標板交付（頒布）事業は、交付（頒布）枚数が前年度比6.0%増の199,152枚、交付手数料は希望ナンバー希望率の増加と図柄入りナンバープレートの新たな需要により、前年度比10.2%増の87,399,088円となりました。

印紙類の売捌き事業では、登録自動車の継続検査台数の減少により、自動車検査登録印紙、自動車審査証紙、自動車重量税印紙の販売額がそれぞれ前年度比3.7%、3.2%、4.3%の減額となりました。

希望ナンバーの希望率は、引き続き利用拡大に向けPRを行ってきましたが、図柄入りナンバープレートの導入効果も相まって、登録番号標が29.0%、車両番号標が18.7%に上昇しました。

公益事業については、公益目的支出計画に沿い、交通事故防止啓発を始め自動車行政の推進に寄与し健全な車社会の発展に資する取り組みへの参加・支援・啓発等を積極的に行ってきました。